



## 子どものしつけは、目によらしむべし！

先月、両親がしつけとして山中に7歳の子どもを置き去りにした事件がありました。今回父親を「責める気にはなれなかった」とする声も大きかったとの報道もあり、頭ではわかっている子どもを冷静にしかることの難しさを痛感させられた人も多かったのではないのでしょうか。改めて「しつけはどうあるべきか」という問題に直面させられた事件でした。

さて、昔の人はどうやってしつけを行っていたのでしょうか。昔は、現代と異なり、家電製品もなく、貧しい家も多かったので、子どもが家事の労働力でした。例えば、水汲み、風呂焚き、雑巾がけ、皿洗い、洗濯、子守り、親と一緒に畑や田の仕事等多くの仕事がありました。そのため、子どもたちがそれらの役割を果たさないと、家全体が回っていかない状況になっていました。昔はそうした家事労働で自然としつけが行われていたと推測できます。

現代は、よくも悪くも核家族化が進み、子どもが家にいてする役割は、勉強とふろ洗いくらいに減りました。このように家庭でしつけを行う場面が少なくなってきたために、行き過ぎたしつけは、虐待やこうした事件へと発展する危険性があることを今回実感させられ、改めてしつけの難しさを考えさせられました。

ではどんな方法でしつけるのがいいのか、大阪府教育センターは「ほめることが大原則。長所を伸ばすことを心掛けてほしい」として、しかる必要がある場合、子どもの人格そのものを否定するのではなく、行為を否定する。どうしてほしいのか、具体的に示すなどとする「しかり方の十か条」を示しているので紹介します。

### しかり方の十か条

- いけないことはいけないと、わかりやすく本気でいう
- 一回で治らなければ次の機会にも、粘り強く
- 子どもの人格そのものを否定するのではなく、行為を否定する
- 日によってしかったりしからなかったり、気分次第にならない、一貫性を持つ
- 何がいけないことなのか、夫婦で一致させる
- どうしてほしいのか、具体的に示す
- 他の子との比較やいやみを避ける
- ひとつのことについてしかり、話を広げない
- 反省が見られたらくどくどと繰り返さず、引き際を早く
- 暴力は子どもとの関係を破壊してしまうことを忘れずに



子どもを育てる中では、ほめることも大切ですが、これはダメなこと、こう望んでいるという意味でしかる場面も当然でできます。その場合、「怒る」という感情を子どもに爆発させるのではなく、「しかり方の十か条」を心にとどめ「あなたのことが好き」という気持ちが伝わるようにしかれば、しかっていることの意味が子どもに伝わるのではないのでしょうか。

「しつけは言葉によるべからず、目によらしむべし」(福沢諭吉)

子育ては、ことばだけでしつけるだけでなく、親自身が見本を示すことが大切である。さらには、子どもは、親自身の日常の言動や生き方を見て、まねていくことになるので、親としてまたは大人として恥じない生き方を自覚しながら生活をしていくことが大切であるということ。

## 全国小学校陸上競技交流大会福島県予選会・県南（岩瀬・石川）地区予選会の結果

6月4日（土）鏡石鳥見山陸上競技場で上記の予選会が行われました。岩瀬・石川管内から小学5・6年生男女約676名が出場し健脚を競いました。須二小の選手の活躍も素晴らしく、6年女子100mで関根奈々さんが2位となり県大会の出場切符を得ました。

6年女子 100m 第2位 関根 奈々  
 男子奨励1000m 第3位 面川虎太郎  
 第5位 安藤航士郎  
 6年男子 100m 第6位 鈴木 葵



### 6年1組 関根 奈々

いよいよ本番。1組目の6レーン。昨年と全く同じでした。昨年にもどった感じがしました。スタート直後、足がもつれて転とう。いやな思い出です。でも、今年はちゃんと先生たちの声も聞こえて落ち着いていました。予選は14秒83。2位通過で決勝に進出することができました。

昨年行けなかった決勝、ドキドキでした。決勝は速い人たちばかり8人。結果は2位。すごくほっとしました。1位ではなかったけれど、今年は県大会に行くことができます！とてもうれしいです。県大会、メダルを目指してがんばります。



## 第84回よい歯の表彰

### よい歯の優良児童

6年 鈴木 葵  
 6年 安斎 光  
 6年 鈴木 遥菜  
 6年 柏木 美和

### 書写

〈特選〉 2年 小野菜々子  
 6年 山本 香澄  
 〈入選〉 3年 渡辺 蒼唯  
 4年 渡部 奈々

### 作文

〈入選〉 2年 小野奈々子  
 2年 矢内 有彩

### 標語

〈入選〉 3年 今野 結奈

### 本校6年児童4名がTPTの推進員に！

小中高生による少年非行防止活動「THE POWER OF TEENAGERS」(TPT)の推進員委嘱状交付式が3日（金）に須賀川警察署で行われ、本校から6年生4名が推進員に委嘱されました。TPTは須賀川警察署管内の小中高生が同世代の視点で少年非行を防止するため、環境美化活動や広報活動を行うボランティア団体です。今年度はポスターの作製や万引き防止キャンペーンなどの事業を予定しています。4名の皆さんの活躍に期待しています。

面川虎太郎 古川結翔 萩原未南 関矢莉央奈



### 図書ボランティア指導者の皆様です。【敬称略】

赤井田仁子、小野 忍、熊田ゆき、今野奈緒美  
 佐山律子、鈴木寛子、添田和香子、深谷ひろみ  
 町田功実江、松井美香、松田照美、宗像礼子  
 荒川文子、市村宏子、伊藤円香、金澤楨子  
 木船知子、関根はるひ、土屋スラサー

学校図書館の本の整理、読み聞かせ等を行って来ています。第1回「読み聞かせ」は6月15日（水）1年と4年生です。よろしくお祈りします。

読書が好きな子どもが増えるといいですね！



第1回図書ボランティア打ち合わせ会